



はまゆう

第93号 新春号 令和6年1月17日発行

発行：社会福祉法人信愛会
 土肥ホーム
 住所：〒410-3301 静岡県伊豆市小土肥787-2
 電話：0558-98-2900
 発行者：福室悦子

戸田デイサービスセンター
 住所：〒410-3402 静岡県沼津市戸田1575-1
 電話：0558-94-5550



土肥ホーム



菜の花ホーム

龍の雲を得る如し



土肥デイサービス



戸田デイサービス

信愛会
 理 念
 愛・信頼・貢献

この1年の幸せと健康をお祈り申し上げます。

2024

年男 年女



昭和3年生まれ



昭和3年生まれ



昭和3年生まれ



昭和3年生まれ



昭和3年生まれ



昭和3年生まれ



昭和3年生まれ



昭和3年生まれ



昭和15年生まれ



昭和15年生まれ



昭和15年生まれ



昭和15年生まれ



昭和15年生まれ



昭和27年生まれ

土肥・戸田 ホームページ

ホームページでは日常の様子や出来事、様々な取り組み等も公開中。是非、ご覧下さい。

戸田サービス



戸田サービスの日々 検索

土肥ホーム



土肥ホームの日々 検索

ド田舎にある夕日の
綺麗な土肥ホーム 特養
はじめました



Follow
me♪

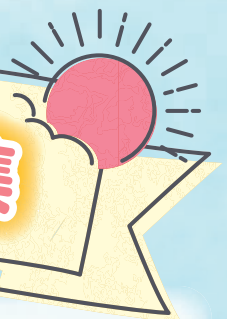
Instagram

公式アカウント名

tokuyou_toi



土肥ホーム30周年記念式典特集



本年度、土肥ホームは創立30周年の節目を迎えることができました。30周年を迎えられた事に感謝するとともに今後の運営への協力支援をお願いするため、11月11日の介護の日に記念式典を開催いたしました。ここ数年はコロナウイルス感染症の影響で、ご家族との面会が制限される中、今回の式典では感染対策を徹底し、ご利用者、ご家族ともにマスク着用を条件に、一緒に式典にご参加いただきました。式典では、長年納涼祭で演目を披露して下さった地域のボランティアの皆様にご出演いただき、式典に花を添えていただきました。

ご利用者やご家族の楽しそうな表情がとても印象的であり、短い時間でしたが、素敵な時間を共有することができ、あらためて土肥ホームは多くの皆様を支えられて今日の日を迎えられたと実感いたしました。この先も、ご利用者やご家族、地域の方々に寄り添いともに歩んでいく、そんな土肥ホームであり続けたいと思います。

30周年記念式典実行委員会



新年のご挨拶



土肥ホーム・
戸田デイサービスセンター
施設長 福室 悦子

皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

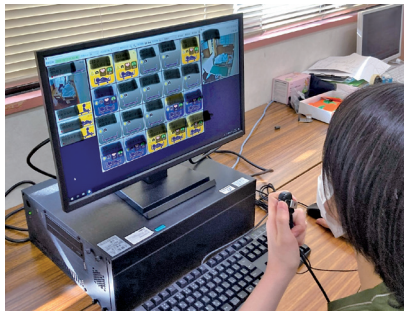
昨年は土肥ホーム創立30周年の記念の年を迎えることができ、これもひとえに、土肥ホーム設立当時から皆様の支えとご尽力の賜物であり、こうして30年間運営を続けることができました。その記念イベントとして昨年11月に創立記念式典を開催いたしました。世間ではコロナ5類に移行しましたが、土肥ホームでは完全にコロナ明けの日常に戻ったとは言えません。しかし、記念イベントでは感染対策を講じ、入所者ご家族が寄り添い、ここ数年見ることが出来なかった光景を見ることが出来ました。感染対策とはいえ、ここ数年、互いの距離を保つ生活が計り知れない不安な状況を強いてきたことを反省し、今後の感染対策の在り方を痛感させられました。

さて、改めて今年の干支は「甲辰（きのえたつ）」この「甲」の文字は鎧や兜などの意味を持ち、種子が厚い皮に覆われ芽を出せない状況や物事を耐え忍ぶ状態を意味します。また別の意味で成長や始まりの意味を併せ持ちます。「辰」は龍の如く、勢いよく活気あふれることを表し、まさに30周年を迎え土肥ホームはこれから、土肥・戸田地区で引き続き、感染予防対策や地域で高齢者サービスを提供し続けるために、龍のようにどこまでも上昇し勢いを増す年になるようお願いを込めて新年のご挨拶とさせていただきます。



見守りセンサーを導入し、業務改善に取り組んでいます。

土肥ホームでは、公益財団法人 JKA の補助事業を活用し見守りセンサーを導入。入所者の安全性の確保と向上、入所者の生活リズムに合わせたケアの提供とともに、職員の訪室回数減少による負担軽減に繋がっています。



編集後記

表紙の『龍の雲を得る如し』の意味は、龍が雲を得て天に昇るように英雄豪傑などが機を得て、盛んに活躍するさまを例えて使われることわざの一つです。私は『英雄』にはなれませんが、龍のようにのびのびと天高く飛び回り、成長していきたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。

(広報誌委員会 LUNA)

社会福祉およびボランティア功労者 厚生労働大臣表彰を受けました！



長年民生委員を務める傍ら、戸田デイサービスセンターに勤務する石原逸雄さん。受賞おめでとうございます。

